

大西ギャラン(CMSC青森)2秒差で優勝を逃す。

'88全日本ラリー選手権第1戦

第19回DCCSウィンターラリー

2月13、14日の両日、'88全日本ラリー選手権の第1戦として、「第19回DCCSウィンターラリー」が開催された。コースは群馬県赤城の氷上から始まり、榛名、軽井沢、菅平を回って軽井沢でゴールする約300km。

そして、このうちの30kmがSSとなっていて、内訳は赤城小沼が3本、軽井沢の白糸の滝が1本、北軽井沢の浅間園が2本、菅平の信州スポーツランドが2本となっている。このラリーで最も注目された



2位に入賞した大西康弘選手と村上一平選手のは、ギャランとブルーバードの、ニューマシン同士による一騎打ちだった。特にCMSC青森の大西康弘選手のギャランと綾部美津雄選手のブルーバードは、スタート直後の赤城の氷上に設定されたSS1~SS3から、その差わずか3秒という大接戦。まさに白熱したデッドヒートを繰り広げて、この戦いを見に来た観衆を湧かせてくれた。大西ギャランはその後のSSでも着実にタイムを稼ぎ、加えてCP減点も少なく抑える安定したドライビングで、信州スポーツランドのSS8を終えた時点では綾部選手に9秒差をつけてのトップ。そのままデビューウィン飾るかにも見えた。しかし、綾部選手は残るSS9で会心の走りを見せ、最後の最後で逆転優勝。たった2秒の総減点の差のために、大西選手は涙をのむことになってしまった。

惜しいところで今シーズン最初の優勝を逃しはしたものの、ギャラン上位10台のうち6台を占める大健闘ぶり。この分なら、4月2~3日に行なわれる第2戦の「ひえつき'88」でも、上位独占が、そして優勝にも大きな期待が持てそうだ。



氷上のSSで果敢なタイムアタックをかける大西ギャラン。氷上のステージから3秒差と大接戦。



ニューマシンでの安定したドライビングを見せる大西選手。第2戦以降の活躍が期待される。

■第19回DCCSウィンターラリーCクラス結果

順位	車両名	ドライバー	ナビゲーター
1	ブルーバード	綾部美津雄	森 哲也
2	ギャラン	大西 康弘	村上 一平
3	ブルーバード	神岡 政夫	中原 祥雅
4	ギャラン	井上 潔	大溝 敏夫
5	ファミリア	磯田 宏志	黒田 正彦
6	ギャラン	加勢 裕二	林 哲
7	ギャラン	桜井 幸彦	岸保 智幸
8	ブルーバード	高崎 正博	浜田 博章
9	ギャラン	大庭 誠介	小田切順之
10	ギャラン	藤田 哲也	田口 雅生
11	ギャラン	福士 文秀	永沢 裕之



福士ギャランも、ニューマシンで11位に喰い込んだ。

夜間のセクションでも爽快な走りを見せる福士選手。

より実り多き活動を目指して、“CMSC全国大会”開催される。

恒例となったCMSC全国大会が、2月27・28の両日、静岡県御殿場市にある、御殿場ステーションホテルにて開催された。

当日は、雪という悪天候にもかかわらず、全国13支部の代表者、加えて87チャレンジカップ上位入賞者の計47名が参加し、今後のCMSC活動に関しての活発な決議が展開された。

午後の2時より、6時までの4時間余り続いた会合は、外川一雄CMSC会長の挨拶に始まり、続いて、各支部代表者による87年度の活動実績報告、88年度の活動計画発表が行なわれた。各支部の特色ある活動報告に加え、次年度へに向けての積極的な計画案の数々は、地域差こそあれ、各支部の今後の運営に当たっては、大いに参考になるため、各支部代表の表情も真剣そのものであった。

大会の後半は、チーム三菱シブズン夏木の篠塚建次郎選手が、日本人として過去最高の2位に入賞した、「第10回バリダカールラリー」の記録映画上映、'87年度CMSCチャレンジカップシリーズの上位入賞者の表彰と、なごやかなムードで進行。続いて、木全徹氏による、新型ミラージュ・ラリー仕様車の仕様説明、'88年度の各クラブへ対するラリーアートの活動援助方針が本部より提案された。

翌28日は、前日より降り出した大雪のため、新型ミラージュ・ラリー仕様車(3ドア・ハッチバックサイボーグ及び4ドアセダン4WD)の試乗を現車見学に切り替えると共に、篠塚建次郎氏の帰朝報告と氏による質疑応答が行なわれ、映像で見るのとは違った、バリダカールラリーの裏話の数々が披露された。現車を前に会員同士の親睦を深める有意義な時間をもち全日程を終了した。



開会にあたり、今年88年は飛躍の年と挨拶する外川一雄CMSC会長。



篠塚選手によるバリダカール帰朝報告会



全国の支部より47名が参加し行なわれた



真剣な討議をくり広げる、各支部代表者



各クラブ代表者による、前年度の活動報告風景。



ミラージュラリー仕様車(3ドアHB)



ミラージュ4ドアセダンに乗車する篠塚氏



ギャランVR-4 ラリーアートカラー車



雪の中とはいえ、現車を前に熱い視線が……

吉川幸彦選手(CMSC札幌)ギャランで北海道チャンピオンシリーズ第3戦を制覇

第1ステージ(全コース、スタッドレスタイヤ)ラリーセクションを7CPクリアして、第1SS道路幅2mと細く、アップダウンがきつく、路面がアイスバーン。SS2.4kmを走り第1ステージ終了。第2ステージ、第1ステージSSの逆走で距離3.6km。ギャランの吉川幸彦選手は本日の目標1番時計目ざしてスタート。3kmあたり下り右コーナーでスタック。ギャランに押しもらいバックで脱出しゴールへ。1番時計に10秒おくれ

大失敗、とてもくやしい。8CP~11CPまでのナビセクションを減点8でおさえ2位千田/新保組が減点11点、小田ナビのスーパーナビゲーションに助けられ優勝。10位にはCMSC札幌の及川浩司選手が入った。尚、吉川選手はギャラン第1戦(1/8・1/4)10位、第2戦(2/8・2/4)4位と上昇、ギャランを乗り越えて今回の優勝となった。

(レポートCMSC札幌横山)



吉川ギャラン北海道チャンピオンラリー第3戦Cクラス優勝